

静岡県技術士協会 S C E A Shizuoka Consuluting Engineers Association
 事務局 久保嶋技術士事務所内 TEL 0545-34-0900 FAX 0545-34-0900

会長：木村芳正 専務：久保嶋 勝巳 会計：齋 強志 会報担当：稲葉弘之・大井寿彦
 会計振込先：静岡銀行沼津支店普通1162090 静岡県技術士協会 齋 強志

【総会報告】

2005年度 定 時 総 会

2005年4月21日（木）於：クーポール会館（静岡市）



会場風景・2005年4月21日（木）クーポール会館

当日の静岡は、初夏を思わせる陽気にめぐまれました。他行事の都合等も勘案して、今年は平日の開催となりました。当初、出席者の大幅減少が心配されましたが、例年とかわらぬ人数が集まり、総会ならびに記念講演、そして懇親会が盛会のうちに行われました。
 参加47名 委任状46名、計93名（過半数は88名）

【定 時 総 会】 14：00～15：30

議 案	第1号議案	2004年度事業報告
	第2号議案	2004年度決算報告
	第3号議案	名誉会員推戴の件
	第4号議案	2005年度事業計画案
	第5号議案	2005年度収支予算案
	第6号議案	創立40周年記念事業案
	第7号議案	規約改正の件
	第8号議案	その他

【記 念 講 演】 15：40～16：40

「自動車排ガス処理触媒と環境」

講師：株式会社キャタラー 水上 友人 氏

【懇 親 会】 17：00～19：00

議 事 要 約

第1号議案 2004年度事業報告

1 会員の状況

- (1) 会員数 2005年3月末現在(175名)
個人会員数 158名、
賛助会員 17社 計 175名

- (2) 入会者 なし
(3) 退会者 8名
(4) 休会者 7名

2 総 会

- 2004年4月23日(金) 14:30~
出席者 44名、委任状 62名、(過半数 88)
記念講演
「21世紀のビジネススタイルと日本の中小企業
の行方」
株式会社 スペースクリエイション
代表取締役 青木 邦章 氏

3 例 会 (CPDカウント)

- (1) 2004年度第1回例会
企業見学会
2004年7月15日(木) 参加20名
(2) 2004年度第2回例会
企業におけるTPM法の紹介
2004年10月29日(金) 参加27名
(3) 2004年度第3回例会
会員講師による技術研修会
2004年12月17日(金) 参加34名
第1講 久保嶋 勝巳 会員
第2講 佐藤 仁一 会員
第3講 寄川 壽明 会員
(4) 2004年度第4回例会
企業見学会
2005年2月25日(金) 参加25名
ローランドディジー株式会社
ローランド株式会社研究所
特別講演 同社 特別顧問
梯(かけはし) 郁太郎 氏

4 常任理事会

- (1) 第1回常任理事会
2004年6月13日(金) 12時00分~15時00分
協会事務局(久保嶋技術士事務所)
(2) 第2回常任理事会
2004年7月15日(木) 10時30分~12時00分
掛川グランドホテル
(3) 第3回常任理事会
2004年9月17日(金) 13時30分~16時00分
協会事務局(久保嶋技術士事務所)

(4) 第4回常任理事会

2004年12月17日(金) 9時30分~12時00分
クーポール会館(静岡市)

(5) 第5回常任理事会

2005年2月25日(金) 10時00分~12時00分
名鉄ホテル(浜松市)

5 理事役員会

2005年4月5日(火) 15時00分~17時00分
クーポール会館(静岡市)

6 臨時特別合同会議

(常任理事役員、東中西地区役員、顧問)
2004年11月5日(金) 14時00分~17時00分
クーポール会館(静岡市) 出席9人

7 創立40周年記念事業暫定実行委員会

2004年12月17日(金) 10時00分~12時00分
クーポール会館(静岡市) 出席8人

8 地区ブロック会合

- (1) 東部地区
2005年1月24日(土)
(2) 中部地区
2005年3月18日(金)
(3) 西部地区 開催なし

9 会報の発行

第107号	2004年	6月15日
第108号	2004年	9月15日
第109号	2004年	12月15日
第110号	2005年	2月25日

10 事 業

- (1) 地方公共団体や協会等への当協会の認識度
向上活動
(2) 業界/個人等への当協会の認識度向上活動

11 日本技術士会中部支部との交流

- (1) 中部支部役員会(名古屋市3回、津市、
岐阜市、静岡市)
2004年4月10日、6月19日、8月28日、
10月29日、12月4日、2月26日
木村 会長 出席
他



第3号議案 名誉会員推戴の件

以下の3名の会員を規約第6条の規定により、名誉会員として推戴する件について、承認を得たい。

(技術士部門順)

- 磐本 正夫 会員 (上下水道部門)
- 清水 康夫 会員 (農業部門)
- 松岡 一喜 会員 (森林部門)

第4号議案 2005年度事業計画案

1 静岡県技術士協会の知名度を高め、各界との交流場面の創出

2 事業の実施

(1) 総会の開催

2005年4月21日(木) 14:30 ~
クーパー会館(静岡市紺屋町2-2)

議事

講演 「自動車排ガス処理触媒と環境」

(株)キャタラー 水上 友人 氏

(2) 例会の開催

7月(東担当)

10月(中担当)

創立40周年記念事業[10月15日(土)]

14時30分 ~ との調整を検討したい。

12月(研修会、親睦会)

3月(西担当)

(3) 地区ブロックにおける自主活動

(4) 外部団体等からの受託業務の開拓

(5) 部門別あるいは技術課題別の研究活動

他

3 役員会

常任理事会、理事・役員会、地区役員会を

随時開催する。

4 会報の発行

年4回(6月、9月、12月、3月)

5 その他

規約改正の骨子 (事務局補足)

今回の改正では重要な内容が含まれていますので、骨子部分をご紹介します。

規約関係

第8条 退会(平成13年度改定の再確認)

連続2年間会費未納の場合は、退会したとみなすことができる。(理事会の承認必要)

細則関係

第2条 日本技術士会に対する当協会の位置づけ

社団法人日本技術士会に対する当協会の名称表示は、日本技術士会の名を冠した静岡県技術士会と呼称する。

第4条 事業

(1) 静岡県技術士協会との共同した事業

(2) 日本技術士会または同中部支部、各県技術士会との協賛行事

第5号議案 2005年度収支予算案

(1) 一般会計の部

科目	収入		支出	
	前年度決算	予算	前年度決算	予算
前年度繰越	597,499	497,749	0	0
賛助会員	150,000	150,000	0	0
日本技術士会助成金	22,400	50,000	0	0
入会金	0	20,000	0	0
年会費	1,096,000	1,328,000	0	0
会合費(総会)	259,000	250,000	393,628	550,000
会合費(例会)	611,000	600,000	733,044	800,000
会合費(理事役員会)	0	0	255,613	350,000
事業費	0	600,000	0	500,000
事務所運営費	0	0	120,000	150,000
会報発行費	0	0	46,786	50,000
印刷費	0	0	268,737	230,000
通信費	0	0	159,044	160,000
各種活動助成費	0	0	60,890	80,000
雑収入/雑費	5	5	413	0
40周年記念事業基金繰入	0	0	100,000	0
会員名簿積立金/作成・発送	0	0	100,000	100,000
次年度繰越金及び予備金	0	0	497,749	525,754
計	2,735,904	3,495,754	2,735,904	3,495,754

第6号議案 創立40周年記念事業案

具体的実施内容は実行委員会にて決定することにする。

第7号議案 規約改訂案

下記の改訂案の審議を願いたい。

規約条項	現行規約	改訂案
第6条(2) 準会員	技術士本試験に合格した・・・ ・・・本試験に合格した未登録者、 および技術士補	技術士第二次試験に合格した・・・ ・・・技術士補、および第一時試験合格者 (修習技術者)
第8条(1) 退会	書面により退会を申し出たとき。	(1) 書面により退会を・・・ (追加) (2) 引き続き2年度にわたって会費未納の場合は、理事会の承認を得て退会したものとみなすことができる。
付則 改正日追加	平成13年4月20日	平成13年4月20日 平成17年4月21日
細則 第5条 年会費	※ 名誉会員 欠落	名誉会員 4,000円
細則 改正日追加	平成12年4月21日 平成13年4月20日 欠落	平成12年4月21日 平成13年4月20日

日本技術士会中部支部活動における細則 → (社)日本技術士会・・・

規約条項	現行規約	改訂案
第2条 日本技術士会に対する当協会の位置づけ		新規に第2条として挿入 第2条 社団法人日本技術士会に対する当協会の名称表示は、日本技術士会の冠を付した静岡県技術士会と呼称する。
第2条 事務所	第2条 本会の事務所は、静岡県技術士協会内に置く。	第3条 本会の事務所・・・
第3条 事業	第3条 本会は、次の事業を行う。静岡県技術士協会と共同しての事業。	第4条 …… (1) 静岡県技術士協会と共同した事業。 (2) 日本技術士会または同中部支部、他県技術士会との協賛行事
第4条 役員	第4条 役員 (1) 会長 1名 (2) 幹事 2名以内 (3) 本会幹事は中部支部幹事を兼務する。	第5条 役員を次のように定める。 (1) 代表幹事 1名(静岡県技術士協会会長が兼務) (2) 幹事 若干名 (3) 本会代表幹事および幹事は、中部支部幹事を兼務する。 (4) 委員 日本技術士会中部支部活動で当会が分担すべき員数。 なお、委員選出に当たっては、静岡県内在住の日本技術士会会員から行うことができる。
第5条 会議の招集	第5条 本会の会議は定時総会とし、会長これを招集する。	第6条 …… …、代表幹事が……………
改定日 追加	改定 平成12年4月21日	改定 平成12年4月21日 平成17年4月21日



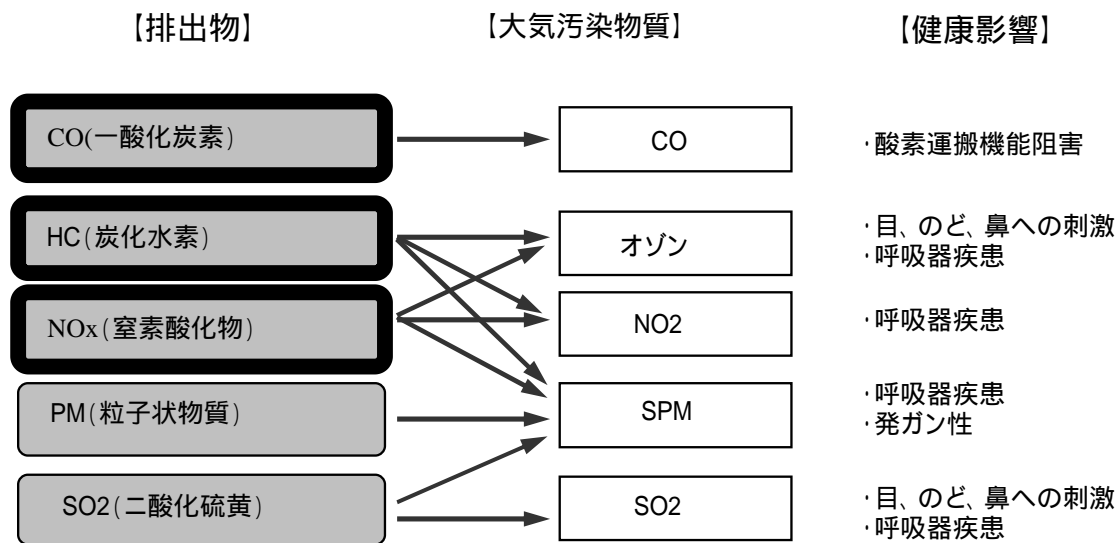
最初に、講師の水上さんご自身について簡単にご紹介します。

水上さんは、昭和40年（1965年）生まれの当年とって40歳。なんと当協会と同じ年です。それこそ若輩者ですとご本人はおっしゃっていましたが、20歳代の技術士さんが誕生するなど、制度改正後、技術士の平均年齢が下がっている今日です。もはや堂々たる仲間の一人であります。

以下、講演の要旨を段落ごとにリポートします。

[1] 自動車の排ガス規制にいたる技術的背景

大気汚染物質と健康への影響



大気汚染物質のうち、人の健康への影響が深刻であるとされている、次の排出物は、自動車排気ガスによって半分近くを占められる。

自動車排気ガスの主要排出物質

- CO（一酸化炭素）
- HC（炭化水素）
- NO_x（窒素酸化物）

代表的な例として、NO_xとSPMについての統計では、いずれも工場・事業所を大きく上回り、原因のトップであることが判明している。

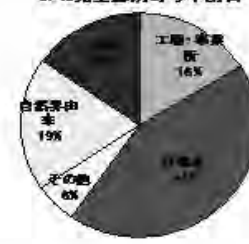
大気汚染と自動車排気ガス

・NO_x、PMにおいて排ガスが占める割合

NO_x発生源別排出割合



SPM発生源別割合



環境省：自動車NO_xPM法の手引き（平成14年）

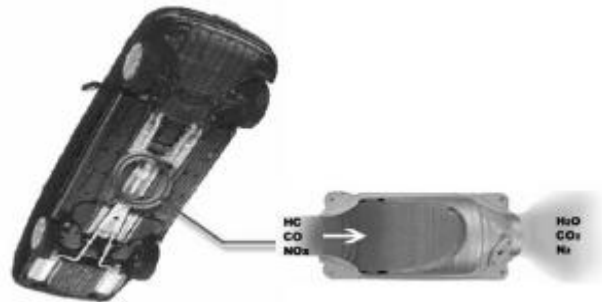
[2] 排ガス規制への対応に触媒は欠かせない

排気ガス浄化の方法としては、つぎのような対応がある。

- エンジン制御による解決
- 排気再循環 (EGR)
- 燃料過濃燃焼とアフターバーナ
- 希薄燃焼 (例、ホンダCVCC)
- 後処理による解決
- 触媒

当時の排出規制への対応を考えると、エンジン制御だけでは十分な解決はできなかった。今日でも規制の上乗せへの対策上、触媒がの役割は大きい。

触媒による排気ガス浄化
貴金属 (白金、パラジウム、ロジウム) のはたらきで有害成分を無害な物質に変える。



触媒業界で占める位置

	販売数量		販売金額	
	1995年	2004年	1995年	2004年
工業用	90.4	80.1	62.1	33.7
石油精製用	51.4	45.6	21.7	8.5
水素化処理用	-	17.8	-	5.9
その他石油精製	-	27.8	-	2.7
石油化学品製造用	17.6	15.4	25.6	16.7
高分子重合用	10.3	16.3	6.6	6.6
ガス製造用	4.4	1.7	4.4	0.8
油脂加工用	2.0	0.7	1.7	0.3
医薬・食品製造用	1.3	0.2	2.0	0.3
その他工業用	0.1	0.2	0.2	0.4
環境保全用	9.6	19.9	37.9	66.3
自動車排気ガス浄化	7.6	16.1	33.1	62.7
その他環境保全	2.0	3.8	4.7	3.6
構成比計	100.0	100.0	100.0	100.0
実数 (数量: 千トン、金額: 億円)	67	99	942	2324

経済産業省「生産動態統計調査」

- 単価が高い 貴金属を使用

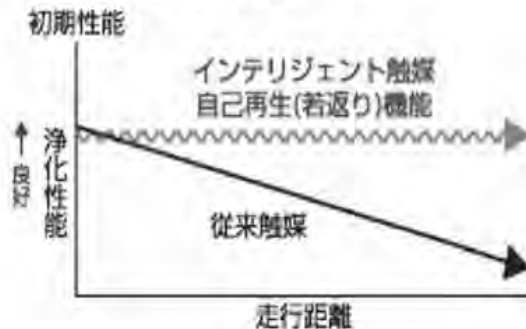
反応と触媒
吸着による分子 (反応種) の接近 中間体の生成
活性化エネルギーを低下し反応を促進。
この間で、触媒自体は変化しない。



- 触媒性能上の課題と解決
- 主触媒の機能助長
 - 助触媒
 - 空気燃料比のずれ
 - 酸素吸蔵能 (Oxygen Storage Capacity)
 - 低温での作動
 - 炭化水素吸着
 - 劣化

インテリジェント触媒

- 自己再生機能で劣化を抑制



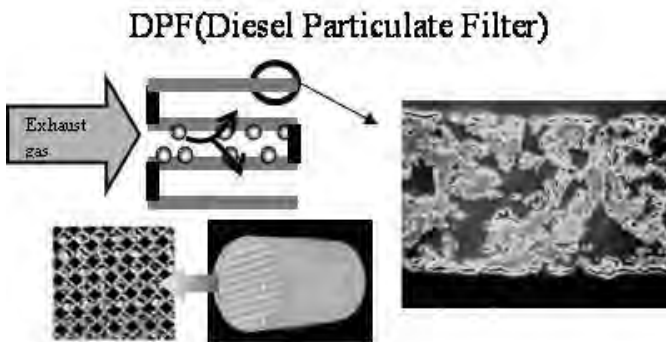
DAIHATSU@Web

[3] ディーゼル排ガス処理の今後

ディーゼルエンジン
ガソリンエンジンとの比較において、次のよう
な特性が知られている・

- 燃費が良い
～HC,COが出難い
- 酸素過多である
～NOxが出易い
- 燃料と空気の混合が悪い
～煤(SPM)が出易い
- 火花点火しない
～制御が難しい
(NOxとSPMがトレードオフ)

ディーゼル排ガス処理の今後
今後、対策が急がれるディーゼル排ガス処理の
方向性としては、
DPF (Diesel Particulate Filter)
NOx吸蔵還元
尿素還元
が有力。



- PMを濾し取る。
- 堆積後の処理が問題

今後の展開
一応の技術的な対策がいきなり、排ガス処
理技術としての評価は確立したが、さらなる社
会のニーズを展望すると、つぎのような課題が
見えてくる。

- ガソリン
吸気よりも排気が綺麗
貴金属使用量を下げる
- ディーゼル
技術の早期確立
- その他の燃料への対応
アルコール
バイオディーゼル
燃料電池

以下、会社のPRです。
どうぞよろしくお願いたします。

(株)キャタラー



- 設立 昭和42年5月8日
- 資本金 5億5,120万円
- 主要株主
-トヨタ自動車株式会社、アイシン高丘株式会社、
アイシン精機株式会社、アイシン化工株式会社
- 所在地
-[本社]
〒437-1492 掛川市千浜7800番地(旧大東町)
-[東京営業所]
〒101-0032 東京都千代田区岩本町2丁目12番2号 第
2早川ビル
- 主要製品
-自動車排ガス浄化用触媒、活性炭、環境用触媒
- 従業員数
-577人(2004年12月末現在)

ダイハツが発明、キャタラーで量産
•Nature掲載を始め多数受賞



「Nature(2002年7月11日号)」に
自動車業界としては初めて掲載されました。
また、先端技術大賞・経済産業大臣賞、市村産業賞・功徳賞、
日本自動車技術会・技術開発賞、RJCテクノロジーイヤー・優秀技術賞、
日本材料学会・技術賞など数多くの首を受賞しています。
(DAIHATSU@WEBより)

創立40周年記念事業 実行委員会 報告

第1回 委員会

2005年4月30日(ブケ東海にて)



1. 委員会組織の立ち上げ

委員長以下役割分担を決定し、組織化しました。名簿は次のとおりです。

静岡県技術士協会

創立40周年記念行事実行委員会

委員長	神立 信	副委員長	山下 久吉
会計	小杉思主世	編集	稲葉 弘之
委員	吉澤 淳	長嶋 滋孔	森 稔夫
	大井 寿彦	吉田 建彦	松本 亨
担当執行部	久保嶋 勝巳	木村 芳正	

敬称は省略しました。

住所、電話番号等は今年4月に施行された個人情報保護法に鑑み、掲載を見合わせました。連絡は従来からの名簿によってくださいますようお願いいたします。

2. 議事

- 2.1 開催日時 10月15日(土)13:30~17:00 会場は手配済み(クーポール)
- 2.2 式次第の検討
 - 1) 講演とディスカッション ディスカッションのメンバー選出
 - 2) 来賓挨拶 90分
 - 3) 表彰
 - 4) この10年の歩み
 - 5) 祝電等読み上げ 連絡先を決める 協会と業務でつながりのある団体を中心に
- 2.3 記念品 出すかどうか決める 8月までに決める
- 2.4 講演のテーマ 地震等の自然災害と技術課題
次回委員会は5月14日(土)15:00より ブケ東海にて

第2回 委員会

2005年5月14日(ブケ東海にて)

議事

1. 講演の依頼について
静岡県地震防災センターの手塚一郎・防災指導専門監に神立委員長から依頼して了承を得た。
2. パネルディスカッション
 - 2.1 テーマを決める
案・・・ 地震発生後3日間の生き残り方 地震発生時の通信方法 など
 - 2.2 座長 吉澤淳さんをお願いする パネラーを決める
3. 記念品 出すか? (参考:30周年はタイピンセット)
久保嶋さんに ¥2,000 以内で案と見積もりを作ってもらう
4. 費用の概算 大枠の予算配分を決める
今回の積立金 ¥900,000
5. 次回 6月12日(日) 13:00~15:00 ブケ東海

【会員の消息】

1. 入会

鈴木 敏弘会員 (電気・電子部門)
 山口 賀将会員 (建設、総合技術監理部門)
 柴田 達哉会員 (建設、総合技術監理部門)
 鳥居 利成会員 (上下水道部門)
 修習技術者

2. 退会

田辺美喜雄会員 (建設部門)
 鈴木 和喜会員 (建設部門)
 風間 敏光会員 (応用理学部門)

【住所変更等】

(株)中部総合コンサルタント
 新住所

(電話、FAXは変更なし)

(株)植松工務店
 新社名
 (株)ウエマツコンサルティング

共和コンサルタント
 新住所

会費納入のお願い

会計担当

2004年度がはじまりました。会費納入がお済でない会員の皆様、お早めに納入くださいますようお願いいたします。

昨年度(2004年度)分が未納の会員には、個別に連絡を差し上げております。

今後は改正された規約により、2年度にわたり会費未納の場合は、理事会の承認を経て退会したものとみなしますのでご注意ください。

会計担当理事 齋 強志

納入先(口座)は次のとおりです。
 静岡銀行 沼津支店 普通1162090
 静岡県技術士協会 齋 強志
 tel 055-979-6225

年会費は8,000円です。



2005.1月28日 撮影者：稲葉

【真白き富士の峰】

東富士五湖道路、山中湖IC付近で撮影。
 ホントに、このときは寒かったです。

編集後記

毎年、6月に発行する会報にはひとつのパターンがあります。4月の総会報告は欠かせません。総会に出席できない会員のために、たとえ概要であっても総会の様子やそこで決まったことなどは最優先でお伝えしなければなりません。6月発刊会報の使命です。

そしてもうひとつパターン化したのが、2月か3月に西部地区担当で行われる例会の記事です。普段は3月15日の発行に間に合わないことが多いからで、日が延びて6月にずれ込みます。ところが、今回はローランド見学の記事が前号に間に合ってしまったため、本号では記事不足になると戦々恐々としていました。

幸いなことに総会の日(水)の記念講演(水上さん)が、内容豊富で図版も多かったこと、記念事業関係の報告記事が加わったことで、記事不足による穴を開けずに済みました。

経済状況厳しいなか、記念事業だからといっても賛助会員からの支援もままならない状況です。今回の事業では会員自身の手づくりによる部分が多くなることと思います。それゆえに会員各位のご協力がことのほか大切になってまいります。よろしくお願いたします。

2005.5月末/稲葉



創立40周年記念事業実行委員長に決まった 神立 信 会員